



まとめと 今後に向けてのお願い

2024年2月5日
株式会社CMU Holdings

「生活介護事業所でのICTを活用した学び」を持続可能(広がり/継続性)にするために

主な支援者	特別支援学校在学中		生活介護通所期 (オンライン上の交流も含む)
		進路先検討段階	
先生	本人に合う入力支援機器探し/助成金の情報提供 学びの継続について、生活介護と情報共有や体験実習		卒業後3年間のフォローアップ
生活介護事業所		学びの継続について、本人/家族/先生と情報共有や体験実習	豊かな生活のための ICTを活用した活動
CMU (保護者による学習支援員)	要望に応じて上記の伴走		ICTを活用した学びの支援

学生時代の先生方との連携



・**進路先の検討段階で、ICTを活用した学びの継続の要望がある際は、CMUと次のような情報共有ができる**と卒業後の学びのお手伝いができると思います。

- ① 身体やコミュニケーションの状況は？
- ② 学校でまたは個人的に、どのようなICT活用をしていたか？
- ③ ICT活用で入力支援機器を使用しているか？
- ④ 趣味や好きなことは何か？
- ⑤ 今後ICT活用してどんな学習がしたいか？

生活介護事業所との連携



- ・「利用者さんが豊かに過ごすために、ICTを活用した活動を提供したい」と考えている生活介護事業者さんは多いと思います。ただ次のような理由でなかなか取り組めないのが実情ではないでしょうか。

”職員の手が足りないので、やってあげたいがやれない”

“ICTに詳しい職員がいない”

“どんな活動をしたらいいかわからない”

“利用者のためにICT機器を購入する予算は無い”

- ・よりよいサービスを提供するために、CMUと一緒にICTを活用した学習を取り込んでみませんか？

保護者を中心とする学習支援員の組織化



- ・様々な学習支援がありますが、CMUが実施するような「生活介護でのICTを活用した生涯学習支援」を進めるためには、学習支援員には次のようなスキルが必要だとわかってきました。

必須スキル

- ★障害特性の理解/コミュニケーション
- ★特別支援学校への理解
- ★生活介護への理解

いずれかがあるとベターなスキル

- ★自主的に関係者と調整できる
- ★入力支援機器の知識(専門業者の協力有) ← 主に重心の方へのICT導入支援で
- ★パソコンまたはiPadの活用知識 ← 主にアプリの学習支援で

- ・CMUでは必須スキルに精通する、肢体不自由特別支援学校の保護者の方を中心に組織化し、各自の得意/不得意を考慮した配置をしています。
すき間時間でよいので多くの方に参加いただきたくご協力お願いします。

※ 必要に応じて研修をおこないます



弊社の生涯学習支援活動へのお問い合わせは、以下までご連絡ください。

株式会社CMU Holdings
津田貴: tsuda@cmu-holdings.co.jp